

雨にも負けず 荻川まつり開催!



広報
おぎかわ

2016.11.15 第164号
 発行者 荻川コミ協
 発行人 朝比奈 富夫
 電話 (24) 5776

荻川の人口	世帯数	6,594戸
	人口	18,202人 (前年同日比+85人)
	男性	8,824人
	女性	9,378人 (2016年9月末日現在)
	男女	

去る10月23日(日)に恒例の第17回荻川まつりが開催された。当日は時折小雨の交じる晩秋を思わせる肌寒い天候でしたが、朝早くからフリーマーケットや朝市に大勢の人が来られ、盛況に催されました。横山実行委員長の開会宣言、朝比奈会長の挨拶、太田副区長他の来賓の祝辞の後、第二中学校吹奏楽部による演奏からアトラクションが始まり、各出店ブースから来場者とのやりとりの声がにぎやかに聞こえていました。

本間自治会町内会長会長の祝辞の中で「荻川まつり」は、荻川地区にできた新興住宅団地の新たな町内から「鎮守となる神社が無い為、祭りが無い。(出来ない。)」の声を中心に新たに加わった人たちが「家族」に楽しんでもらおうと始まった。「旨の話があり、改めてコンセプトを知り、来年はもっと楽しんで頂けるものになりたい」と思いました。(総務部)



あんこ、黄粉餅の無料配布、今年も30kg、6臼の餅に長蛇の列。当日、文教部の方々が懸命に蒸かし撞いた餅。早通コミ協の方、ほんのちよびりだけど小さい杵で子供も参加、気持ちのこもった餅が撞き上がりました。

今年は食べられなかった方にはごめんなさい。次回は早めに並んで美味しい餅を賞味して下さい。フリーマーケットも大人から子供まで楽しんでもらえるものが並んでいました。思わぬものとの出会いがありました。来年度出店したい、買いたい方、足を運んでみてください。(女性部)

2016NPBドラフト中日4位指名 笠原祥太郎

目指せ開幕1軍



◎プロフィール
 笠原祥太郎(かさはらしょうたろう)
 1995年3月17日生まれ
 身長177cm 体重85kg
 左投げ 左打ち
 荻川地区、川口町内出身
 新津高校→新潟医療福祉大

第34回 荻川地区運動会!

10月2日(日)荻川小グラウンドにて実施。

- ☆優勝→中野町内会(64ポイント)
- 準優勝→みそら野町内会(60ポイント)
- 三位→北潟町内会(59ポイント)

☆50m競争

- 小学生(男子)中野町内会 スズキマコトさん(8.1秒)
- 小学生(女子)結町内会 カヤモリサキさん(7.9秒)
- 一般(男子)北潟町内会 サイトウシュンスケさん(7.1秒)
- 一般(女子)川口町内会 モリヤマユキさん(8.5秒)

- ☆対抗リレー 第1レース 北潟町内会(2分24秒82)
- 対抗リレー 第2レース 結町内会(2分18秒71)



オーエス! オーエス!
どちらも頑張れ!

早く! 早く!
慎重に送れ!



中野町内会 二連覇達成!



第31回 荻川地区敬老会 10月9日(日)参加者563名で開催!

○荻川地区平成28年度の対象者は、2,155名 ○余興出演団体は18団体



第33回 おぎかわ地区文化祭



11月3日から4日間、荻川地区文化祭が開催されました。地域で活動している33団体の作品と賛助会員作品、一般参加作品を展示してご鑑賞いただきました。展示作業には大勢の皆様から遅くまでご協力いただき感謝申し上げます。今年にはコミセンで活動している、いきいき塾パソコンクラブ、いこいの間、親子リズムの会、そして地域の放課後児童クラブ、個人サークルと多くの初出展をいただきました。また第二中学校からは美術部、茶道部につづいて理科創作部からの初参加がありました。昨年空調設備工事により中止した音楽イベントを復活し楽しんでいただき、イベント広場においてはアロマセラピー、雪吊り展示、ハンドマッサージなどを行いご好評頂きました。皆様の笑顔が私たちスタッフの励みとなり無事終了することができました。作品を出品して下さった皆様、ご来場いただいた地域の皆様有難うございました。(文化教養部)

構内整備(環境整備部)
10月16日(日)に荻川コミセン構内・西公園の除草作業を行いました。尚、10月23日(日)第17回「荻川まつり」が実施されることから、今回も従来通り念入りに作業を行いました。また、今回も天候に恵まれて、秋晴れの中「グリーンカーテン」の取り壊しと「花壇」の草取りや「ドウダンツツジ」および「もみじ等」の剪定を行い、今回より「コミセン農園」も駐車場として利用するため駐車場の草取りおよび整備も行い、「荻川まつり」を迎える態勢が整い、終了致しました。



高齢者等の「見守り事業」の取り組みに向け説明会議

～結町内会と地区社協～

10月17日、結公会堂において、結町内会役員18名及び地区社協3名が出席して、高齢者等の「見守り事業」についての説明会議を開催しました。会議では、地区社協から「見守り事業」の目的や内容について説明し、その後活発な質疑と意見交換を行いました。ここ荻川地区でも、今後、高齢化が急速に進むことが予測されています。また、昨年実施した「高齢者に対する福祉を考えるアンケート」の結果、高齢者とりわけ一人暮らしの高齢者は、様々な不安や心配を抱えながら生活している状況が明らかになりました。このような状況から、荻川コミ協では、支援が必要な高齢者等を地域で支え合うネットワークを構築し、将来に向けて継続・拡充していくことが必要と考え、自治会、町内会と一体となつて高齢者等の「見守り事業」を立ち上げる方針です。

この事業は、見守りを希望する高齢者等をボランティアの見守り協力が訪問するなどして、安否・健康状態の確認、不安や心配事の把握、必要な情報の提供等を行うことにより、高齢者等が地域とのつながりを持ちながら、住み慣れた荻川で安心して生活できる地域社会の実現を目指すもので、29年度から実施可能な自治会・町内会から実施していく方針です。

28年度は、事業立ち上げに向けた諸準備に取り組み中としており、地区社協では、要望があればいつでも自治会・町内会に出向き事業説明及び意見交換を行うこととしています。(地区社協)



荻川小学校の田んぼで稲の刈り方の説明をするJA中村さん。



結小の田んぼで稲刈りをする児童。小雨の中がはりました。

楽しかった稲刈り

車場とおおば通町内会合同!

9月24日(土)に、車場農地保全隊による稲刈りが車場デイサービスセンター隣の田んぼで行われました。当日は、天気にも恵まれ、多くの親子連れでにぎわいました。最近では稲刈りから脱穀まで機械で済みますことが主流になりましたが、稲をノコ鎌で刈り、ワラで束ね、干す作業は子どもたちにとって貴重な経験になりました。

稲刈りの後はおいしいトン汁とおにぎりをいただきましました。参加者は後日配られるお米を楽しみにしているそうです。



荻川地区小学校も

豊作でした

結・荻川両小学校では、田んぼを使って学習をしています。五年生の「総合学習」という授業でお米の大切さを学び、田植えから収穫までを体験します。

今年も9月から10月にかけて稲刈りと脱穀を行いました。両方の小学校を担当しているJA中村宏之さんによると、「今年も天気にも恵まれ、品質・量共に良かったです。」とのことでした。

車場町内会『防犯出前講座』

10月15日(土)午後1時30分から3時まで車場公会堂の大広間にて車場町内会交通防犯部主催で『防犯出前講座』が開かれました。

県警OBで現在新潟市市民生活課防犯指導員の斎藤さんが講師として話されました。話の内容は四つ。

- ①新潟県の犯罪発生件数
- ②特殊詐欺について
- ③空き巣等侵入窃盗事件の現状と対策
- ④DVDを見る



犯罪発生件数は、前年に比べ減少しています。②の特殊詐欺の発生件数は減少しているが、被害額は8月末で1億7千万円と高額です。手口もより巧妙になってきているそうです。未然に防ぐには行動を起こす前に考える余裕が重要です。③の窃盗は戸締まりが重要だそうです。犯罪を防ぐには、自分の身は自分で守る。事件に遭う遭わないは、五分と五分。意識するかどうかなさそうです。(K.ara)

ある日の車場寿会

私ども荻川地区老人クラブ「車場寿会」では、晩秋の去る10月30日お楽しみ会なる身内の芸能祭を開催した。今年で5年目になるが、毎年盛況であることから公会堂が手狭になり、広い会場で伸び伸びやりたいとの要望から、今年はコミセンの大会議室を借用し60名の参加者であった。

民謡、銭太鼓、手品、カラオケ等それはそれは日頃鍛錬を重ねている趣味の成果を発表する機会であり、身内の気心知れた仲間の集まりであることから、パワフルな底力を発揮してくれた。これが本来の老人クラブのあるべき姿でないか。

会員募集に廻ると「老人クラブ」という名称が悪いとよく断られるが、それは単に自分だけの理屈の言い訳にしか聞こえない。

地域の仲間が趣味を通して人の和を広げることがどれだけ重要なことか。健康面は当然であるが、地域防犯、奉仕活動等互助・共助でこれだけ社会貢献できる団体は他にない。それは自主的に組織しているからである。人類の誰もが加齢を防ぐことは出来ないが、一人ひとり心の輝ける老人になることは可能である。

(車場寿会 M.W)



バレーボールクラブ

荻川フェアリーメンバー募集

気持ちをつなごう。ボールをつなごう。
いつでも見学お待ちしております。

練習曜日

火曜日	木曜日	土曜日
二中	コミセン	コミセン
19時～21時	19時～21時	17時半～21時

お問い合わせ

090-7425-9567 (星野)



空気が日を追う毎に冷たくなり、秋の深まりと同時に冬の到来を感じます。私は、いつも秋冬の季節は「寒くて早く過ぎてくれないかな」と思いつつながら生活しております。しかし、今年は、荻川地区運動会や荻川まつりにスタッフとして参加させて頂き、荻川地域の皆様の笑顔・気力が、体力を間近に感じる事ができました。私自身もパワーをいただきました。とても充実した秋を過ごすことができました。

皆様、一度地域のイベントに参加してみませんか。人々の笑顔にふれ、素敵な秋を身近に感じられると思います。

〈S・日記〉

編集後記

お知らせ・情報・会員募集コーナー

『荻川地区洪水避難参考図』を荻川駅に設置

このたび、秋葉区役所の設置許可を得て、荻川駅連絡通路東口及び西口に「荻川地区洪水避難参考図」を設置しました。

この参考図は平成25年に作成したもので、荻川地区の4河川(信濃川、阿賀野川、能代川及び小阿賀野川)の堤防が決壊した場合の浸水予測や災害避難場所、荻川地区及び主な施設の海拔、避難時の心得等を表示し、各町内の公会堂、各学校等に設置してあります。

昨年実施した「ご高齢者に対する福祉を考えるアンケート」の結果、多くの人が水害の発生や災害時の避難に不安を抱いていることが明らかになりました。

このため、7月に開催された秋葉区主催の地区懇談会において、荻川地区で最も人通りの多い荻川駅に「荻川地区洪水避難参考図」の設置を要望し、実現したものです。

(地区社協)



野外講座に参加して 佐藤 温

大河津資料館、展望室より一望した、信濃川の雄大さにみとれ、この大河が氾濫した横田切れの話を職員より聞き、如何にこの分水路が重要な役割を果たしているかを思い知らされた。

先人達の努力のおかげで、国内有数の米生産地、蒲原平野が誕生したことを痛感した。国では想定外の豪雨に対処するため、昨年より平成44年までに1,200億円の予算で、分水路の改修工事を進めている。

出雲崎良寛記念館では、良寛について知らない一面を知ることができた。良寛の書は、解読できない書ばかりと思っていたが、楷書の般若心経が展示されていたのには驚いた。

一流画家による、良寛和歌の情景が描かれた作品を多く見て、如何にすぐれた人なのかと、今更ながら認識を新たにし、心が充実した一日となった。



荻川駅ホーム(上り)一部撤去工事!

上り線ホームの一部が傾き、危険な状態となっている為、撤去を行うことになりました。

○工事期間

平成28年10月～平成29年3月

○尚、地下道の通行には誘導に従い、

気を付けて通行してください。



荻川交番だより「鍵」の管理を徹底しましょう!

先日、県外で、マンションの管理業者を装った者が、住人に対して「玄関の鍵を点検させてほしい」旨を伝え、提出を受けた鍵に刻印された番号を基に、インターネットで合鍵業者に依頼して合鍵を作成したあと、その住居に侵入し、検挙されました。

大切な人や物を守るため、次のことに注意してください。
鍵を ○家族以外には見せない。 ○家族以外には渡さない ○写真撮影し記録する。

平成28年10月17日現在	特殊詐欺被害発生状況	
秋葉署管内	5件	729万円
平成28年10月17日現在	死亡交通事故発生状況	
秋葉署管内	0名 (-2)	